



令和7年4月17日

報道関係者各位

県立博物館における化石木展示室の設置等について

県立博物館では、須川河川敷（山形市）の埋没林から掘り出され、当館で保管していた化石木につきまして、この度、保存処理等を施し、新たな展示室を設け、展示することとなりました。

また、化石木展示室の設置と併せ、館内の展示ケースへの有機EL照明の導入や展示パネルの更新などにより、展示環境の整備を進めたところです。

つきましては、県内外の多くの皆様にその魅力に触れていただけるよう、広くお知らせくださるようお願いいたします。

記

1 展示室改修等の内容（別添参照）

（1）化石木展示室の設置

化石木の防虫・防カビ処理、修復作業を行い、1階に新たな展示室を設置

※化石木…令和3年5月に山形市須川において確認、同年9月、博物館に移送し保存。

当時（約2万7千年前）の気候や環境が分かる手掛かりとなる貴重な資料。



（2）展示パネル・照明の更新

展示ケースの一部に有機EL照明を導入、展示室照明のLED化、色褪せ・白黒パネルの更新、パネル等の一部をデジタル化（タッチパネル導入）等

【問合せ先】

山形県立博物館学芸課

副館長（兼）学芸課長 矢野 純嗣

電話 023-645-1111 / FAX 023-642-1112

広報監 観光文化スポーツ部次長 丸子 尚

1 化石木展示室の設置

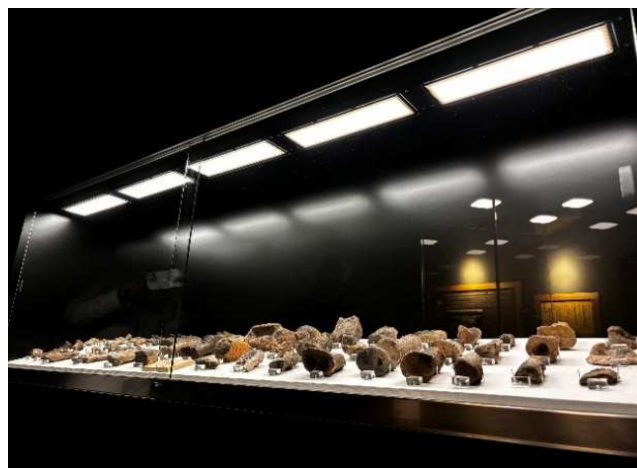
○ 博物館1階 体験広場（クジラ骨格・mammoth展示場所）に展示室を新設



「須川埋没林の化石木」解説パネル

2 展示ケースに有機EL照明を導入（一部）

○ 国宝「附（つきたり）」：国宝の劣化防止のため、有機ELを設置



3 展示パネルの更新

○ 2階「第1展示室」内、昆虫標本の背景写真（白黒）

